

キラリ わたしの学校区

鬼石中校区

問い合わせ 学校教育課(☎508212)
鬼石中学校(☎522750)

特別号 コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校を目指して～

鬼石中校区では、地域とともにある学校の伝統と校風を受け継ぎながら、連携型小中一貫校として地域とのつながりを大切に教育を進めています。

「地域の子どもは地域で育てる」という強い思いのもと、登下校の見守り、読み聞かせや学校図書館の整備、授業への支援、花の苗の栽培などの環境整備、さらに地域全体が関わる運動会の実施、地域の伝統を守る夏祭りや盆踊り大会への参加など、地域の皆さんにはさまざまなご支援をいただいています。

このような取り組みを持続していくためには、学校と地域の皆さんとの連携・協働を促進していくことが必要不可欠です。そこで、今年度から学校と地域をつなぐ、コミュニティ・スクールの導入を進めています。具体的には、地域や子どもたちをよく知る人々を委員とする3校合同の学校運営協議会を立ち上げました。その中で、学校の運営方針の承認や学校課題を共に解決していく立場で意見交換が行われています。また、学校運営協議会の意向を具現化し、ボランティアなどの活動を支援する体制づくりとして、地域学校協働本部を立ち上げていきます。

コミュニティ・スクールの推進していくためには、今まで以上に、子どもたちが地域に出て郷土学習を



↑「鬼石」連携型小中一貫教育構想などについての協議を行っている第1回鬼石学校運営協議会の様子。

行ったり、地域の皆さんと共に地域の課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わったりする取り組みを行っていくことが重要です。

そこで、学校運営協議会を核に、地域学校協働本部の立ち上げを通して、校区の実態にあった連携・協働の在り方を明らかにしていきたいと考えています。

より多くの地域の皆さんに参画していただき、地域と学校が一体となってよりよい学校づくりを推進するとともに、これからも、地域のつながりの強みを生かし、地域を愛し未来を担う子どもたちを育てるために、鬼石中校区3校が力を合わせて取り組みを進めていきます。

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課(☎226888)



～インターネットと人権問題～

インターネットは全世界とつながり、瞬時に情報をやり取りできる大変便利なもので、われわれの生活にとってなくてはならないものになっていきます。ただし便利な反面、課題もあります。匿名性が強く誰が発信したのか特定できない場合があり、一度公開された情報は広がってしまい削除しきれないのが現状です。

インターネット上の人権侵害

他人の誹謗中傷 子どもたちや若者の間では、SNSを通じて連絡を取り合うことが日常化しています。こうした中で、ささいな行き違いから、誹謗中傷がエスカレートし、大勢の人から攻撃され、学校や仕事に行けなくなったり、時には自殺を考えたたりするケースがあります

上では相手が誰か確かめられないため、成り済ましによりだまされたり、脅かされたりして犯罪に巻き込まれることがあります。特に女性がストーカーや性犯罪の被害に遭う事件が起きています

差別の助長 インターネットに間違った情報を書かれ、面白おかしく広められてしまう、悪意のある書き込みが見られます。また同和問題の地域の情報公開され、新たな差別を生み出している事例や、事件の犯人と決めつけられる事例などがあります

個人情報の漏えい SNSなどで不用意に掲載した写真などから、個人情報漏えいしたり、悪意を持って情報が拡散させられたりする事例があります。中には元の交際相手や子どもの裸の写真を公開する悪質なものもあります

インターネットとの関わり方

インターネットは取り扱いは方次第では、自分が被害者にも加害者にも成り得るものです。日進月歩の発達の中で、

最も危険なのは「無知」であると言われるほどです。情報機器を機械として使いこなすだけでなく、「情報」として発信する・されるという意識を持つことが大切です。井戸端会議で話しているうわさ話のつもりでインターネット上の情報交換をしていると、「名誉毀損」「侮辱」「信用毀損」「業務妨害」といった罪に問われる大きな事件につながってしまうことがあります。

情報発信時の注意

▽悪口、根拠のないうわさや差別的な内容は書き込まない▽人が写っている写真や動画は勝手に掲載しない▽使う言葉に注意し、相手を挑発するような言葉は使わない

ネットいじめ防止行動目標アクション3! 本市の子どもたちは学校で「相手が喜ぶ言葉を使おう・送信する前に確認しよう・大切なことは相手の目を見て伝えよう」を合言葉に、インターネットでの関わり方に注意をしています

こうしたことを参考に、人権侵害につながらないように配慮していきましょう。

本の出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館(☎21669)

やっぱり、それでいい。



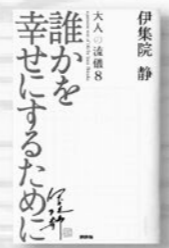
著者▷細川 韶々
人間関係で一番大事なことは「人の話を聞くこと」です。人の話を聞くのがニガテな細川韶々が、対人関係療法の第一人者・水島広子に精神科医の聴く技術を教わりに行く。

おばちゃん介護道



著者▷山口 恵子
日々、老老介護。時々、朗朗介護。介護はつらくて苦しいだけじゃない。独身・還暦の作家が91歳・要介護2の母との日々をつづった、笑いと愛情たっぷりの介護エッセイ。

大人の流儀8 誰かを幸せにするために



著者▷伊集院 静
人は何のために生きるのだろうか。そのことが少しでも分かれば、人生は違ったものに見えて来る…。亡き前妻夏目雅子との思い出や、日々の思いをつづったエッセイ集。